

製品名: FHIT マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM85983**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,FC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:2000-1:4000,FC 1:25-1:50
分子量	16.7kDa

抗原情報

遺伝子名	FHIT
別名	Bis(5'-adenosyl)-triphosphatase, AP3A hydrolase, AP3Aase, Diadenosine 5',5'''-P1,P3-triphosphate hydrolase, Dinucleosidetriphosphatase, Fragile histidine triad protein, FHIT
遺伝子 ID	2272.0
SwissProt ID	P49789
免疫原	この FHIT 抗体は、組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

背景

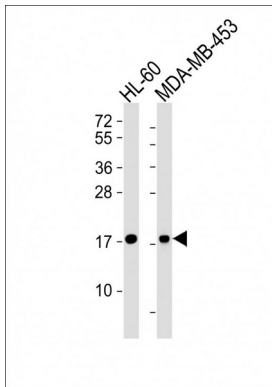
P(1)-P(3)-ビス(5'-アデノシル)三リン酸(Ap3A)を切断し、AMP と ADP を生成します。また、P(1)-P(4)-ビス(5'-アデノシル)四リン酸

(Ap4A)も加水分解しますが、ATPに対する活性は極めて低いです。CTNNB1による転写活性化を調節し、CCND1やBIRC5といった細胞増殖と生存に必須の遺伝子の発現制御に寄与します。SRCおよびAKT1シグナル伝達経路を介してアポトーシス誘導に関与します。MDM2を介したp53/TP53のプロテアソーム分解を阻害し、p53/TP53を介したアポトーシスに関与します。アポトーシス誘導は、FHITがP(1)-P(3)-ビス(5'-アデノシル)三リン酸または関連化合物に結合する能力に依存するが、その触媒活性は必要としない。FHITの一部はミトコンドリア型に由来し、低親和性Ca(2+)トランスポーターを感作することでミトコンドリアにおけるカルシウムの取り込みを促進する。腫瘍抑制因子として機能する。

研究分野

アポトーシス

画像データ



全レーン：抗FHIT抗体 (1:4000希釈)